

# 令和3年度教育事業「はなやま防災キャンプ」事業報告書

1 趣 旨 災害に関する知識を学んだり、災害後の避難生活を疑似体験（不自由な生活体験）したりすることを通して、自らの防災力を高め、主体的に考えて行動できる子どもたちの育成を図る。

2 主 催 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立花山青少年自然の家

## 3 事業の概要

(1) 令和4年2月26日（土）～ 27日（日）【1泊2日】

(2) 参加者

①参加対象 宮城県内の小学校5・6年生の児童 20名程度

②参加状況 参加総数18名（応募者数38名）

4 場 所 国立花山青少年自然の家

## 5 企画・運営のポイント

- ・「防災クエスト（クイズラリー・所内安全点検）」では、グループで協力しながら課題に取り組むことで、災害に関する基礎知識や技能について学んだり、危険箇所について把握したりできるようにする。
- ・空き缶を使ったろうそくランタンを作成することで、ライフライン（電気）が止まってしまった場合のイメージをもたせるとともに、愛着のあるランタンで非常時における精神的安定につなげる。
- ・電気を使用せずテント泊を行うことで、ライフライン停止時のイメージをもたせるとともに、他の参加者と力を合わせることで、より質の高い住環境を整えることができることを体験させ、共助の意識や必要性を感じさせる。
- ・食事については、アルファ化米やポリ袋クッキングによる野外炊事等を体験させることで、避難時における知識や技能を身につけさせる。また、一人当たり水使用量を限定して配給することで、水の有効活用について考えさせる。

## 6 日 程

2月26日 (土)	集合		11:00 受付	11:30 出会のつどい アイスブレイク	12:30 昼食	13:30 防災クエスト 「防災って何だろう？」	15:00 ランタンづくり 寝床づくり	18:30 電気がない夜体験 「夕食(アルファ化米)」 「プレイホールでのテント泊」 「パラボードづくり・管内巡り」	21:30 消灯 就寝
	6:30 起床 洗面 朝のつどい	7:30 朝食	9:00	10:00 火おこし 体験	10:00 野外炊事 「ポリ袋カレー」	12:30 振り返り	13:30 アンケート記入 別れのつどい	14:00 解散	

## 7 活動の内容について

【2月26日（土）1日目】



アイスブレイク



防災クエスト



空き缶ランタンづくり



寝床づくり（テント設営）



アルファ化米（非常食）



パラボードブレスレットづくり

【2月27日（日）2日目】



火おこし（まい切り式）



火おこし（メタルマッチ）



水の再利用



ポリ袋カレー



ふりかえり

## 8 成果と課題

### (1) 参加者アンケート結果

満足：83% やや満足：17% やや不満：0% 不満：0%

### (2) 参加者の声

#### ①作成した防災標語

- ・防災は チームワーク 大切だ
- ・落ちてこない 動いてこない 倒れてこない 安全な場所
- ・非常食 食べて買い足し ローリング

#### ②アンケート（自由記述）

- ・電気のない夜でも、落ち着いてやっていたら大丈夫だと思った。
- ・危険なところがわかった。
- ・電気やガスがないと不自由だとわかった。
- ・自分の身を守るために身近なことや当たり前なことできないとだめだと思った。
- ・防災について教科書などでは見たけれど、あまりイメージできていなかった。でも、体験することでイメージができたし、もし災害が起きてもしっかり行動したいと思ったし、協力し助け合いたいと思った。

### (3) 成果

- ・防災クエストでは、活動内容をステージ1（クイズラリー）、ステージ2（所内安全点検）、ステージ3（ロープワーク）に分け、グループで課題を解決していくことで、班員同士が協力しながら、防災に関する基礎知識・技能を身につけることができた。また、活動後のふりかえりでは「2008年岩手・宮城内陸地震」の際の当施設の被害状況などの写真を提示しながら避難に適した場所などを考えさせたことで、より鮮明なイメージをもたせることができ、プログラム化への手ごたえを感じた。さらに活動の流れや説明資料等について精査していく必要がある。

### (4) 課題

- ・「ランタンづくり」「パラコードブレスレッドづくり」「アルファ化米体験」「ポリ袋クッキング」などについては、防災を学ぶための有益な体験活動として十分プログラム化していくことができる。半面、研修支援のプログラムで提供するためには材料等が安定供給される必要があり、そのためには食堂やその他連携機関と調整・検討していく必要がある。

担当：企画指導専門職 村山 浩康